

事よて退^き又翌日使を以て云そ相奥忘^ふふ
事有り汝持^ちた^るが必^に亡ん^ふく賣^べー但味
方の陣^へ賣^べり^ん縁を求めて款の方^へ
賣れとあり^れれを^得て承^りぬと^やを後日
の軍に又此^の相奥同^もを^して^備りを^耀
たり^相奥人を^以て^先日の^相奥なりや^忘く
ーと^宣ふ日^並若^智の^領之と^やを^於て^瑞
あり^款へ^賣べー^完賢^忘め^ふと^宣ひー^後
次の軍に^君皮^威の^程甲の^古さを^忘を^り
^相奥^最為^也能^相奥なりと^宣ひー^後
よ

を^所以^をを^回へ^ば相奥に^亡瑞の^取れ^るに
い^何ん^にを^謂相奥^小英^をを^して^宝相^を
^失い^出の^費なり^ある^さを^宣ふ^事に
思^ひて^皆是^をを^忘れ^ん宝^ハ天^{より}も^降
る^無所^以地^{より}も^不漏^りざ^り何^りて^毎年^に
出^生する^のに^死を^入る^に^身を^好こ^て
^死を^をを^宣ふ^事を^宣ふ^事を^宣ふ^事を^宣ふ^事
ー^て何^を能^る事^の一^人も^持助^をん^や是
^之の^中の^望人^{なり}を^宣ふ^事を^宣ふ^事を^宣ふ^事
^諸人^皆感^信を^とり^後を^い海^志め^終ふ